



新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

旭山記念公園森の家は3月19日まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休憩室を閉鎖しています。トイレは金土日10時から16時までご利用できます。3月20日開館予定ですが、情勢により閉鎖継続の可能性があります。ご了承ください。



旭山で見られる保護対象動植物種

国、道、市がそれぞれ制定した保護対象生物リストから、旭山で見られるものをピックアップしました。旭山での観察頻度が低い種も含みますが、過去に偶発的な記録があるだけの種は取り上げていません。

☆環境省レッドリスト

CR=絶滅危惧IA類 該当なし

EN=絶滅危惧IB類 クマタカ

VU=絶滅危惧II類 オジロワシ、オオワシ、ハヤブサ、クマゲラ(右写真上)、オオイチモンジ、ウラギンスジヒョウモン、クロビイタヤ(植栽)、クゲヌマラン

NT=準絶滅危惧種 オオタカ、ハイタカ、ハチクマ、アオヤンマ、オオムラサキ

DD=情報不足 オシドリ、エゾサンショウウオ(右写真下)

☆北海道レッドデータブック

CR=絶滅危機種 該当なし

EN=絶滅危惧種 オジロワシ、オオワシ、クマタカ

VU=絶滅危急種 オオタカ、ハイタカ、ハヤブサ、クマゲラ、アオヤンマ、シラネアオイ、フクジュソウ

R=希少種 ギンザンマシコ、ハチクマ、ナツアカネ、オオムラサキ、エゾエノキ

N=留意種 オオアカゲラ、エゾサンショウウオ、ムカシトンボ、オオイチモンジ

☆札幌市版レッドリスト2016

CR=絶滅危惧IA類 該当なし

EN=絶滅危惧IB類 クマタカ、エゾタンポポ

VU=絶滅危惧II類 オジロワシ、オオワシ、ハヤブサ、クマゲラ、エゾエノキ

NT=準絶滅危惧種 オシドリ、ハチクマ、オオタカ、ハイタカ、エゾサンショウウオ

DD=情報不足 ヤマシギ

N=留意種 オオアカゲラ、ギンザンマシコ、ムカシトンボ、オオムラサキ、オオイチモンジ



■ウラギンスジヒョウモン(左写真)は、ミドリヒョウモンと並び旭山で多く見られるヒョウモンチョウですが、国レベルで見ると絶滅危惧種II類に指定されています。このように地域により状況が異なる生物は他にもいて、例えば、北海道で多く見られるアカゲラは広島県では絶滅危惧種です。

■エゾサンショウウオはどのリストでも軽～中程度懸念として含まれていますが、日本のサンショウウオはほとんどが絶滅危惧種。これは、日本の河川など淡水をめぐり環境が常に開発などの危険にさらされており、かつ両生類が環境の変化に弱いことも示しています。

■オオムラサキはエゾエノキを食樹としていますが、そのどちらもリストに含まれています。

旭山ではオオムラサキとエゾエノキの保護活動を行っており、2018年には、エゾエノキの種子(右写真左)を採取し、苗木を育て、公園内数か所に植樹しました。

■クゲヌマラン(右写真右)は旭山では6月になると笹のないやや明るい林床にちらほらと見られますが、毎年必ず同じ場所で咲くとは限らない。ぜひ探してみてください。

希少種でもそうではなくても、生物は大切にしたいですね。



旭山野鳥メモ ⑫モズ

モズ Bull-headed Shrike *Lanius bucephalus* スズメ目モズ科
ヒヨドリより小さい。雄は目に太い黒帯。雌は胸がまだら模様。

札幌周辺では夏鳥だが、旭山ではこの1月、雌の個体が別の日に別の日に撮影されたように、冬に観察される年もある。

ただ、旭山では基本的に夏までしか見られない。春に渡来し、営巢するが雛が巣立つと旭山からいなくなってしまう。

だから、秋の風物詩「モズの高鳴き」も、旭山で聞くことは稀。ただし、冬まで残っている年には秋に「モズの高鳴き」が聞かれることがある。

嘴が鋭いモズは小さな猛禽ともいわれているが、これまたよく知られた「モズのはやにえ」、カエルやバツタなど捕獲した獲物を枝など尖ったものに刺す、それも旭山では見たことがない。

囀りを聞いたことがあるが、ホオジロの下手な真似のようなはっきりとしない声におかしな旋律。「百舌鳥」という名前の由来も、いろいろな鳥を真似たような鳴き声を出すことからきているという。

春はホオジロやキジバトとともに3月中に渡って来、旭山では春先がいちばん観察しやすい。モズは、その「キチツ」という鳴き声で旭山に春の訪れを告げる鳥のひとつ。



3月の野鳥トピックス

野鳥についての詳しい情報はホームページの野鳥情報をご覧ください。森の家までおたずねください。

★ヒレンジャク、キレンジャク＝2月の大雪の後数が一気に減りましたが、それでもキレンジャク数羽が2月下旬にもまだ見られていました。

★イスカ＝2月中もいましたがたいいてい上空で1羽のみでした。

★マヒワ(右写真)＝シラカンバの種子を食べる姿を見る機会が増えてきました。

★キクイタダキ＝今年は少なかったですが、2月下旬から見られる機会が増えてきました。つり橋周辺と風の丘下の松によく来ます。

★クマゲラ＝園内でも時々近くで観察できます。★オオアカゲラ＝雌の個体がまだよく見られています。

★ヤマゲラ＝3月は見られる頻度が高くなります。★キバシリ＝今月いっぱいまだ見られそうです。

★シマエナガ＝つがいでの行動に移り10羽以上の群れが見られることは少なくなりました。



啓蟄といっても雪国だから・・・雪の上の虫たち

3月5日は二十四節気のひとつ「啓蟄(けいちつ)」。土の中で眠っていた虫たちが目覚めて出てくる頃。

しかし、北海道はまだまだ雪の中。虫なんて、建物の隅にいるカメムシくらいしか見られない・・・

いえいえ、そうとは限りません。雪の上で活動する昆虫もいるのです。

雪の上で見られる昆虫は、セツケイカワゲラ(下写真左)、トビケラ、トビムシ、クモガタガンボそしてユスリカ(右写真右、ペア)の仲間です。それらは、雪の上のバクテリアを主な食糧としています。

3月、雪の上に動く小さくて黒っぽいものを見かけたら、近寄って観察やマクロ撮影してみてください。

ただし、触ると人の熱で死ぬこともあるそうなので、ご注意ください。



編集後記

旭山の梅の木を剪定しました。桜で有名な旭山にも実は梅の木があります。展望台から見ると噴水広場の右側、青銅の「はたちのつどい記念碑」の右。

数本しかありませんが、5月に白い花が咲くと辺りにいい香りが漂います。

そして「ウメジロー」、梅とメジロも撮影できるかもしれないですよ。(写真は桜とメジロ)



公式サイト

「アカゲラ通信」 第77号 2020(令和2)年3月7日発行

発行:(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所:〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先:電話011-200-0311(土・日・祝日10時~16時) FAX011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahi-yama/>